

教科(科目)	家庭 (家庭基礎)	単位数	2単位	学年(コース)	5学年
使用教科書	教育図書『 Survive!! 』高等学校 家庭基礎				
副教材等	教育図書『 家庭科55デジタル+ 』				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

### 2 学習目標

<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
--

### 3 指導の重点

<p>①実習を取り入れ、実践的・体験的な学習活動をする。</p> <p>②学習したことが家庭生活で実践できるように、生活との関わりを認識しながら学ぶ。</p> <p>③生活の中から課題を見つけ、主体的に考えて行動し、解決できるようにする。</p>
---

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協力し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

## 5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 ・作品の内容  などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 ・ワークシートの内容  などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・提出物の状況や内容 ・作品への取り組み  などから、総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

## 6 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	青年期の自立と家族	人の一生と家族 現代の家族 家族と社会	人の一生を生涯発達の見点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題を理解する。 家庭生活を支える基本的な法律について理解する。	6	プリント
5	子どもの発達と保育	子どもの発達 子どもの生活 子どもと育ちあう	子どもの心身の発達の特徴を理解する。 子どもの発達における遊びの意義について理解する 親としての役割や、子どもの福祉について知る。	7	視聴覚学習 プリント
6	高齢期の生活 共生社会と福祉		高齢者の心身の特徴や、高齢期を支える制度や仕組みについて理解する。	7	定期テスト プリント
7 8	食生活と自立  ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動	栄養と食品 食品の選択と取扱い	栄養素の種類や機能、食品の特徴について理解する 食品の適切な選択・保存ができ、食品の衛生について理解する。 学校や家庭、地域の課題を見つけだし、解決のための計画を立てる。	8	プリント
9		これからの食生活	現代の食生活の問題や課題について理解する。	6	定期テスト
10	衣生活と自立	刺し子製作		8	作品
11		衣服を着る 衣服の成り立ち	衣服の主な機能について理解する。 衣服の素材の種類や特徴を理解する。	6	プリント
12		衣服の手入れ	表示に基づき、適切な手入れができる。	6	定期テスト
1	住生活と自立	住まいを見つめる  安全で健康な住まい	住まいの機能を理解し、平面図から基本的な情報を読み取ることができる。 安全で健康な住まいの条件について理解する。	6	平面計画 プリント

2 3	消費生活と経 済  環境  食生活	献立と調理	現代の家計の特徴を知り、消費者信用の適切な活用について理解する。 消費者問題や消費者の権利について理解し、適切な消費行動を実践できるようにする。 持続可能な社会を目指し、自分のライフスタイルを見直す。環境に配慮した消費行動ができる。  調理実習を行い、調理の理論と技術を身に付ける。	10	家計簿プレシート  定期テスト
--------	----------------------------------	-------	---	----	-----------------------

計70時間 (50分授業)

## 6 課題・提出物等

- ・授業内で配布するプリントのファイル
- ・視聴覚学習によるプリント
- ・調理実習のプリント
- ・刺し子

## 7 担当者からの一言

知識や技術を身に付けるには、学んだことを家庭生活で実践してみることが重要です。  
将来自立した生活を送るために、自分の家庭生活を見直し、知識や技能を確実に身に付けるように努めましょう。

(担当：倉茂)